# Rotary (





## 第2770地区 第1グループ

浦和中ロータリークラブ

2020-2021 クラブターゲット

## 「発見、創造、魅力あふれるクラブに!」

一組織を創る仲間を創る明日を創る一



ロータリーは 機会の扉を開く

#### 相原 章会長 尾崎 康幹事

## 今日の例会

10月22日(木)第1427例会 例会時間:19:00点鐘

例会場所:さいたま商工会議所会館2階第一ホール 卓話者:会員卓話 石関 健会員・市川浩正会員

テーマ:『ロータリーを続けている理由、その魅力②』

## 次回の例会

10月29日(木)第1428回例会

例会時間:19:00点鐘

例会場所:さいたま商工会議所会館2階第一ホール

卓話者:鉄道紀行作家 田中正恭 様

テーマ: 『中々実体験できない絶景鉄道の旅を紹介』

## 会長挨拶

#### 会長 相原 章

10月第3例会にご出席いただきありがとうございます。本日は、コンゴ民主共和国から米山奨学生して来日しているタンブエ・チレラ・シャール君をお招きしての卓話例会です。どうぞよろしく



君をお招きしての卓話例会です。とっそよろしく お願い申し上げます。そして、もうお一方、浦和東ロータリークラブ、平田 利雄様にもお越しいただいています。個人的なことですが、平田様に初 めてお会いしたのはもう35年近く前で、以来大変お世話になっています。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、GoToトラベルキャンペーンも第7弾となりました。先日群馬県の四万温泉に行ってまいりました。この温泉は4万もの病に効能があるということで四万温泉との名がついたと言われています。私、ここで初めて地域共通クーポン券なるものをもらいました。1万円の商品券です。しかしこれがとっても使い勝手が悪い。まず、群馬県内でしか使えない。それもほとんど使える店がない。さらに有効期限が1泊2日なので2日間。一体どこで使えばいいのか?いくらスピード感が大事だとはいえ、このやっつけ仕事で日本経済の再生に役立つのか?非常に疑問に感じました。このように内容よりもスピード感、やっつけ仕事といった例は世間にはいくらでもあります。

中クラブは今年、地区から大口枠と普通枠、合わせて110万円以上の補助金を交付されて国際奉仕事業を計画しています。普段なら問題はないのですが。今年はコロナの影響で事業を100%完遂できるのか?危惧を感じています。しかも一番問題なのが、この補助金も地域共通クーポン同様期限があって3月末までに使わなければならないのです。今年に限れば、何もあわてて3月末までにやれなくてもいいのではないか?4月でも5月でも6月でも、何なら年度をまたいでもいいのではないか?中途半端なやっつけ仕事で何が何でも期限内に予算を消化するなんていう硬直化した官僚的発想に未来はない、と思います。これは批判ではなく、お願いです。地区の方々には是非フレキシブルなご対応をお願いしたいと思います。

今月は米山月間です。米山梅吉公は「巧遅拙速」を座右の銘にしていました。どんなに上手くやったとしても、遅くてはダメだ、スピード感が大事だ」という意味ですが、これには裏があります。米山公はたいへんせっかちな性格だったゆえに、逆にじっくり考え、行動することが大事だと自らを戒めるために「巧遅拙速」を座右の銘にしたと言われています。コロナの時代、今私たちは慌てることなく、あえて巧遅拙速の巧遅の精神を大事にしていきましょう。

## ビジター紹介

米山記念奨学増進委員 平田利雄 様 (浦和東RC) 米山奨学生 タンブエ・チレラ・シャール 君 (越谷南RC)

### 幹事報告 幹事 尾崎 康

・職業奉仕部門講演会(パレスホテル大宮) 10月30日(金) 17時開演

・青少年奉仕部門セミナー開催 (辻村・尾崎) 10月28日(水) 第1部 16時~ 第2部 18時~



10月28日(水) 弟1部 16時~ 弟2部 18時~

## ■『コロナ禍の今、経験してる現在の心境』



タンブエ・チレラ・シャール 君 (越谷南RC)



コンゴ共和国は、人口8700万人、GNPは日本の約100分の1の500億ドルのアフリカ中部の後進途上国である。一人当たりの年収は、月5000円程度の貧しい国です。私は、コンゴを離れて10年経つので、コンゴの事は、インターネットで知るだけです。コンゴでは、未だにコネクションが大事で親のつてがなければ出世を望むのは無理といえます。もう一つコンゴで特有なのが結婚式です。とても賑やかで全く赤の他人が入って来ても誰も気が付かない程です。私が今日あるのは、おばあちゃんのお陰です。10年前、お母さんと一緒にコンゴからやって来ました。おばあちゃんは、とても教育熱心で、私とお母さんを日本に行かせる為に、とても大変な思いをしていました。私は、日本に行く事をその当日迄知りませんでした。

日本での留学先は、群馬でした。群馬は、からつ風が強くて寒くつらかったです。2年前に大学に合格、母親が帰国しました。その時、学費は1年分しかなく、この米山制度はとても有難く思いました。大学を卒業したら、インフラ関係に進みたいと思っていたので、クボタに入社できた事はとてもハッピーです。日本で充分インフラ整備について学び、将来は、コンゴと日本の架け橋になりたいと思っています。 (文責 T・K)

## □リモート出席者



₹ 松石滋樹 会員

☆キム ヒジュ さん (米山学友)



## 『帰朝報告』

#### 第17期生ロータリー平和フェロー 竹之内千明 様

(於:2020.9.24 第1423例会)

この度、ロータリー財団の皆さまのご支援のお陰で、無事平和フェローとしての活動を終了し、平和と紛争学専攻の 修士号を取得することが出来ました。改めて、お礼申し上げます。2019年2月から1年半に渡り、クイーンズランド

大学国際政治学部にあるロータリー平和センターに所属し、平和と紛争学を専攻しておりました。フェローとしての経験を通して、主に

成できたと思っている事があります。

つ目は、研修やセミナーを通して、平和構築・紛争解決の分野の専門知識を得るだけでなく、様々な観点から国際協力と平和構築を検 討するスキルを身につけ、それをどう私の活動する分野で生かしていけるかということを実践を通して学んだことです。例えば、ジェンダーと開発 セミナーや女性と安全保障のセミナーでは、現代の国際協力では欠かせないジェンダーの視点からみた平和と紛争について事例や実際にあ る事業案件などを使って実践的に考えたり、研究したりしました。また、アボリジニ原住民の文化や視点から見た平和や、イスラム教における 人権問題など、少しニッチな分野に特化したセミナーも進んで選択し、国際法や国際機関・NGOの観点から見てきたこれまでとは異なる観 点から、平和と紛争を理解した上で、人権侵害や社会問題への解決策を練ることの大切さを学びました。こうしたセミナーや研修を通して、 視野が広がり、一言に「平和」「人権」といっても、立場が違えばその言葉の意味が変わってくる事や、例えば「若者の参加する平和構築事 業」にしても、荒野に住むアボリジニ人の若者やコロンビアの貧困層やソマリアの過激化した団体にいる若者から見たら、N G O団体の「平和 構築」という活動自体むしろ疎遠してしまうものかもしれないし、彼らから見た「平和」とは何か、ということを理解することから始めなければいけ ないんだ、という風に考えるようになりました。このような点を考慮しつつ、修士号を終了する際には、レバノンで昨年2019年10月から始まっ た革命における若者の参画と人権を促進する上でのストリートアートの役割に関する研究論文を書き上げました。

達成できたことの2つ目は、本当に十人十色とはこういう事なんだ、と痛感するほど、国籍や文化だけでなく、経歴も性格も考え方も全く違 う平和フェローの方々とプロフェッショナルな関係を作りあげる事ができた事です。クイーンズランド大学に来た第17期生平和フェローは私を入 れて十人です。他の9人はアメリカ、ドイツ、ペルー、メキシコ、フィリピン、ミャンマー、ガーナの出身で、国連勤務していた方もいれば、政府や アフリカ連合、N G Oで働いていた方など、経験豊富なフェローばかりでした。でも、例えば、フェローの中には、アメリカ空軍の戦略司令官だっ た方もいたのですが、自分と違う意見の相手とどう向き合い、対話するか、また、チーム内で対立や揉め事が起きた際にどう対応するか、など のリーダーシップスキルを身につける、良い人生経験となりました。議論は絶えない波乱万丈な1年半でしたが、平和な世界を作る、という同じ 目標を持ち、世界のどこに居ても支え合っていける仲間が出来た事は、本当にありがたく思っております。

また、身近な平和や内なる平和から、築き上げて行くことの大切さも痛感しました。その為、元々ヨガはやっていたのですが、今では瞑想を毎 朝習慣にするようにしていますし、また、出来る限り自分の日々の生活もサステイナブル、持続可能なものにしていきたいと思い、なるべくプラス チックゴミを減らすことや国産の食料品を買ったりすることは当たり前ですが、最近は出来るだけベジタリアンの食生活や、児童労働や紛争鉱 物を使用した商品を買わないようにするように努めています。このように、皆さんにも身の回りや自身の行動から変えて、世界の紛争問題や人 権問題に貢献出来ることは意外と沢山あるんです、ということも、今日のお話のメッセージとして聞いていただけたら幸いです。

また、平和フェローとしての活動は幅広く、ロータリーセミナーやホストクラブでの例会に参加し、活動発表したり、政治首都キャンベラに1週間 行き、民間軍事センターなどの政府関連機関を訪問したりもいたしました。平和フェローの活動の一環として、現場での実務経験を積むため の費用も含まれています。そこで私は、法の支配と人権に特化した、International Development Law Organisationという国際機 関のデン・ハーグ事務所で、調査員として、2019年11月から2020年2月までの4ヶ月間働いてきました。主に、リサーチ&ラーニング部署で、 ソマリアにおける、非公式な、習慣や宗教に基づいた法の、紛争解決への役割に関するリサーチと政策提言に携わりました。草の根民主主 義の様な、コミュニティーにおける和解調停の活動が人権保護にどう関与しているか、また、連邦政府レベルでの司法制度改革に貢献・補足 (ほそく) できるか、という点に着目した事業でした。私は自分の専門性を生かす為、特に子供と女性の権利に注目して、データ分析及び

研究報告に従事いたしました。この経験を通して、文化人類学と国際法という極端な分野を専門として、また直接支援の現場で経験を積

んできた私だからこそ出来る事を探ることができました。

今後はこうして得た知識と広げた視野を生かして、人権侵害や紛争を社会構造の問題として捉え、 Inclusive Peace (包括的な平和) やシステム (構造) 的な変容をもたらすことによる課題解決に 貢献していきたいと志しています。このようなアプローチは残念ながらまだまだニッチなので、コンサルタ ントやトレーナーとしての活動を通して、国際機関やNGO団体にこれから広めていくことに尽力したい と思っています。今はコロナもあり、今後の現場や海外に出る予定を立てるのも難しい時期なのですが、 しばらくは焦らず、日本から出来ることに集中できる機会だと思うことにしています。現在は、日本の 団体やオンラインを通して海外の団体・機関にアプローチしている最中です。ロータリー財団の皆さまの ご支援のお陰さまで、無事平和と紛争学修士号を取得し、平和フェローとしての活動も終えることが 出来ました事、改めて、お礼申し上げます。今後も何らかの形で、ロータリー財団と関わり、平和な 社会を作り上げる為に一緒に活動できたら嬉しく思います。

米山についての紹介と寄付 のお願いをされる米山記念 奨学増進委員の 平田利雄様(浦和東RC)

編集後記」今週の例会は、米山奨学生コンゴの シャール君であった。22歳と若いが、大変日本語が流暢な 頼もしい学生であった。インフラ関係に就職がきまっているら しいが、将来は、国に帰って重要な重要な役割をする様な 予感がする。楽しみである。 (T·K)

クラブ管理運営・プログラム委員長:三島 泉

親睦委員長:市川浩正 会員研修委員長: 辻村浩司 研修リーダー:小谷野英一 公共イメージ向上委員長:小嶋敏夫

UI

例会日:毎週木曜日 19:00~20:00 出席報告 10月15日(木)第1426回例会

例会場:さいたま商工会議所会館2階 第1ホール

D-: 会

事務局:さいたま市浦和区高砂3-17-15 さいたま商工会議所会館7階

> TEL:048(838)7740 FAX:048(838)7741 ᡮ᠆᠘ヘ° −シ゛http://urawa-naka-rc.org

会長:相原 章 会長エレクト・幹事: 尾崎 康

会員総数(免除) 39(3)名 本日の出席率 86.11 % 31/36 メイクアップ 出席算定 4 本日の出席 27